



岡山大学自然生命科学研究支援センター
動物資源部門鹿田施設
Newsletter

2010
Aug. 9

岡山市北区鹿田町 2-5-1 TEL 086-235-7445 FAX 086-235-7433 e-mail: animal@md.okayama-u.ac.jp
ホームページ <http://www.cc.okayama-u.ac.jp/~animal/>

 実験動物の技術講習会を実施しました。

7月31日から8月1日に鹿田キャンパス医学部基礎講義・実習棟3階実習室において、日本実験動物技術者協会関西支部主催の平成22年度マウス・ラット上級技術者講習会が実施されました。本部門では、技術職員が中心となって技術講習会の準備及び当日の各種サポートを行いました。



各テーブルには、講師、講師アシスタント、テーブルアシスタント各1人が配置され、5人の受講生の講習を支援しました。実験動物技術指導員（日本実験動物協会認定）、関西支部スタッフが講師、講師アシスタントを担当し、本部門の職員はテーブルアシスタントや全体サポートといった裏方を担当しました。当日、熱気(?)で実習室内は少し暑かったですが、皆さん真剣に講習に取り組んでいました。



講習内容は充実したものでした。

今回開催したマウス・ラット上級技術講習会は、(社)日本実験動物協会が実施する一級実験動物技術者レベルの講習会で、日本実験動物技術者協会各支部の講習会の中でも、一二を争う内容です。受講生の内訳は、大学関係が5人、企業においてすでに第一線で活躍されている方が24人でした。



↑ 初心者も安心して参加できるマンツーマンに近い指導体制でした。

↳ 動物資源部門職員（実務経験3年未満）も慣れない道具で悪戦苦闘していました。

↓ 講習会の締めくくりは、実技模擬試験でした。



来年も鹿田での実施を検討しています。

受講生ほとんどが3年以上の実務経験を有していましたが、実務経験3年未満の方も参加可能です。スタッフには、岡大卒業生が3人もいました（受講生として別に1人参加）。



使われなくなった実体顕微鏡の提供をお願いいたします。

鹿田施設は、本年から医学部医学科の新入生に向けて開講される生物学実習を担当いたします。医学教育の準備教育の位置づけの本実習では、マウス・ラットの解剖、マウスの体外受精・二細胞期胚の観察、ニワトリ胚の初期心臓の観察を行います。しかし、マウスやニワトリの初期胚観察に不可欠な実体顕微鏡（最大倍率45倍程度のもの）が不足しています。そこで、皆様の研究活動ですでに使われなくなった古い実体顕微鏡がありましたらご提供をお願いしたいと思います。カビあり等の訳ありのものでも施設でリストアいたします。よろしくお願いたします。



連絡先：動物資源部門 准教授 樫木勝巳

TEL 086-235-7447 e-mail kmomink@md.okayama-u.ac.jp